

岡山放送(OHK) 岡山県議会ナビ

1, 日時:本放送  令和元年10月19日(土)
PM 1;00~1;30

2, 再放送: 10/21(月) AM2;40~3;10

★テーマ

「9月定例県議会を振り返って」

●発言要旨は次の通りです。

～9月定例議会を振り返って～ 自民党 波多 洋治

①地方創生・災害に強い岡山の実現

令和時代の地方創生

今後の財政運営について⇒1分間

(来年度の予算編成について)

②安心して豊かさが実感できる地域の創造

少子化対策の推進(おかやま出会い結婚サポートセンター

「おかやま縁むすびネット」の取組みと成果⇒1.5分

③地域を支える産業の振興

企業誘致の推進⇒空港南産業団地

交通基盤の整備⇒岡山米子線の全線4車線化⇒1分間

④教育県岡山の復活

不登校・いじめ・暴力行為等への対策⇒2分間

⑤最後に、今後の抱負など⇒15秒程度

●ご紹介しましょう。自由民主党:波多洋治さん

1、はい、よろしく申し上げます。

●最初のテーマは、「地方創生・災害に強い岡山の実現」です。⇒VTRそれでは、地方創生や災害対策に関して、現状や課題など、皆さんにご意見を伺いたいと思います。では小林さん、申し上げます⇒小林君・2分間

●波多さん、いかがでしょうか⇒**地方創生・災害などについて1分間**

2、はい、昨年の豪雨災害から1年目にあたる本年7月、岡山県は、県民皆さんに県民だよりの「特別号」を配布させていただきました。復旧復興に向けたあゆみをまとめたものでございます。被害の状況とともに、1日も早い復旧復興に向けて、生活再建や公共施設の復旧、地域経済の再生に向けた取組み、また今後の対応などについて、広報させて戴きました。

従って、今議会の代表質問並びに一般質問では、被災者や被災事業者への支援・災害復旧工事の見通しなどについて、県の取組み状況を質しましたが、知事の復旧復興かける熱い思いと同時に、各部各部署の前向きな答弁を戴いたところであります。岡山県は、今年度を災害復旧元年と位置づけ、949億円に及ぶ災害対策費を計上致しました。願わくば、来年度に向けて、さらなる財源確保にご努力を戴きたいと願っているところであります。

●続いてのテーマは、「安心して豊かさが実感できる地域の創造」です。**1分30秒：少子化対策の推進など**

3、はい、国の内閣府が、人口急減・超高齢化という、我が国が直面する大きな課題に対して、まち・ひと・しごと創生ビジョンを掲げたのは、平成26年であります。そこ

には、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるという基本目標が掲げられております。

岡山県では、そのビジョンの打ち出される5年前、つまり平成21年から、若者達の新しい出会いを創出し、以て婚活を推進する事業に取り組みました。その事業は、おかやま出会い・結婚サポートセンターに受け継がれ、結婚関係支援予算も大幅にアップしたのであります。本年度予算では、1億100万円が計上されております。

であるにも関わらず、成婚した組数の合計は、縁むすびネットによる64組と、それ以外による81組を合わせて、この5年間で、**わずかに145組であります**。おかやま縁むすびネットの、先月末の登録者数は2259人です。結婚したいという思いがあるからこそ、縁むすびネットに登録する。その人達の思いを実現するために、もっと本気で、そして、もっと汗をかくべきであります。

●地域を支える産業の振興です。

地域を支える産業の振興など: 1分間

4、はい、私は、岡山県は、気候風土に恵まれ、自然災害も少なく、また陸海空の交通の結節点として、企業にとっては、すばらしい立地条件を備えていると思います。

岡山に進出したいという企業ニーズに応えられるよう、岡山県は、54億円を投じて、空港南産業団地の造成に取り組みました。県有地である**元第2リサーチパーク用地**の造成完成に伴い、本年1月から公募を行い、審査の結果、新たな三社を選定し、立地することとなりました。その投資総額は、191億円にのぼります。三社は、いずれも物流関係企業ではありますが、地域の活力活性化に繋がると共に、新たな雇用も生まれます。ちなみに、昨年度は27

社の進出があり、新たに598人の雇用が生まれたところ
です。さらなる産業振興のためにも、企業誘致の受け皿と
しての、産業団地の造成に取り組んでいただきたいと思います。

●続いてのテーマは、「教育県岡山の復活」です。波多さ
ん、いかがでしょうか。⇒2分間

不登校・長期欠席対策、いじめ・暴力行為等への対策
5、はい、本年7月31日、文部科学省が公表した全国学
力テストの結果、岡山県では、小学校6年が29位、中学
3年が過去最高の19位となりました。県教育委員会が目
標としていた10位以内には届きませんでした。現場の
先生方の懸命の取り組みが徐々にではありますが、実を結び
つつあり、大変喜ばしい結果でありました。教育県岡山の
復活に向けて、一歩前進であります。

一方、児童生徒の問題行動等に関する調査結果はどう
だったでしょうか。県教委のホームページで公表されてい
る資料をご覧くださいと思います。

それによりますと、昨年度の公立・私立学校の小・中・
高の児童・生徒の問題行動の総計は、

- ①暴力行為=1219件
- ②いじめ =2866件
- ③長期欠席者・不登校者数=5695人
- ④高校中途退学者 = 817人 であります。

いずれも、唖然とする数字であります。

しかしながら、教育の原点は、人です。私は、これらの
問題解決には、やっぱり現場の教師の力だと思います。子
ども達への愛情と情熱さえあれば、教育現場の問題は必ず
解決できると思います。校長も、教育委員会も、現場の教

師が、師道に生きることが信じ、自由闊達に、子ども達と格闘できるよう見守ってやるべきです。教師には、教える・指導するという教育の大道を歩ませるべきであります。

●では、最後に、皆さんから今後の抱負などを、一言ずつお願い致します。 波多20秒

6、はい、「生き生き岡山」を創るのは、県民一人一人です。一人一人が生き生きしてこそその岡山県であります。政治も教育も人です。特に、公に生きる行政マンは、地域のリーダーとして、施策のリーダーとして、本気の取組みが期待されます。地方創生の牽引者は、知事を筆頭とする県庁職員であります。「生き生き岡山」実現のために、議会と共に県政発展の両輪となり、取り組んで行きたいと思っております。